

部活動の地域連携・地域移行に向けたアンケートの結果概要（児童・生徒及び保護者）

調査期間 令和6年1月19日（金）から令和6年1月31日（水）まで

対象者 （1）文京区立小学校 第5・第6学年児童及びその保護者
（2）文京区立中学校 第1・第2学年生徒及びその保護者

調査方法 WEB回答（対象者が二次元コード等を読み取り回答する）

回答率 （1）児童 30.5% （2）生徒 49.1% （3）保護者 65.3%

結果概要

<小学校>

問4「入部を希望する部活動」

- 男子運動部 野球部（第一、第六、第八、第九、文林、本郷台）
サッカー部（第三、音羽）⇒希望は高いが既存が少ない
- 男子文化部 パソコン（第九、文林）⇒希望は高いが既存が少ない
- 科学部（第一、第八、第九、本郷台）⇒希望は高いが既存が少ない
- 女子運動部 ダンス部（第八、本郷台）⇒希望は高いが既存が少ない
- 料理・クッキング部（第十）⇒希望は高いが既存が少ない

<中学校>

問5「部活動に所属している目的」

- 友達と楽しく活動するため、体力・技術を向上させるためが高い傾向（男女とも）
結果を求めるとい傾向が強いとは一概には言えない。

問8「休日の部活動が地域連携・地域移行となり、あなたがその活動に参加するとしたら、どのような活動がしたいか」

- 約半分が普段の延長を望んでいる。2割強が普段と異なる活動を望んでいる。

問9「休日の部活動が地域連携・地域移行となり、あなたがその活動に参加するとしたら、どのような指導者がよいか」

- 必ずしも学校の教員による指導を望んでいるわけではない。

問11「部活動ではなく学校以外のスポーツ活動・文化活動を選んだ理由は何か」

- 学校の部活動にない活動を外部でやろうとする生徒はごく一部。（男女ともに）

<小・中学校>

問6・7 「休日の部活動が、地域連携・地域移行となった場合、その活動に参加したいか」

- 小学生・中学生共に傾向は同じ。
中学生4割近くが参加したくない、そもそも活動したくないと回答している。

(写)

<保護者>

問4 「お子様が部活動に所属している（所属する）目的を保護者の皆様がどう考えているか」

→上位は「友達」「体力・技術向上」「チームワーク」

「大会・コンクール等でよい成績を収めるため」は小中学生に比べると低い。

問5 「お子様が部活動の顧問の教員や部活動指導員から指導を受けることで、どのようなことを期待するか」

→充実感が上位になっている。

問6 「休日の部活動が、地域連携・地域移行となった場合、お子様をその活動に参加させたいか」

→小中学生の回答との乖離が見られる。否定的な回答は少なく、「家の近く」「学校の近く」ならやるという回答が多い。

問8 「休日の部活動が地域連携・地域移行となり、お子様をその活動に参加させるとしたら、どのような指導者がよいか。」

→小中学生は、「平日に所属している部活動の顧問」と回答した小中学生の割合は3割～4割程度だが、保護者の割合はかなり低い。教員の手から離すという考えの保護者が多い。

問9 「部活動の地域連携・地域移行において、解決すべき最も大きな課題は何だと考えるか」

→小中学校ともに「人材（指導者・活動を運営する人など）の確保」が圧倒的に多い。